



1953 1954 1955 1956 1957 1958 1959 1960 1961



1962 1963 1964 1965 1966 1967 1968 1969 1970



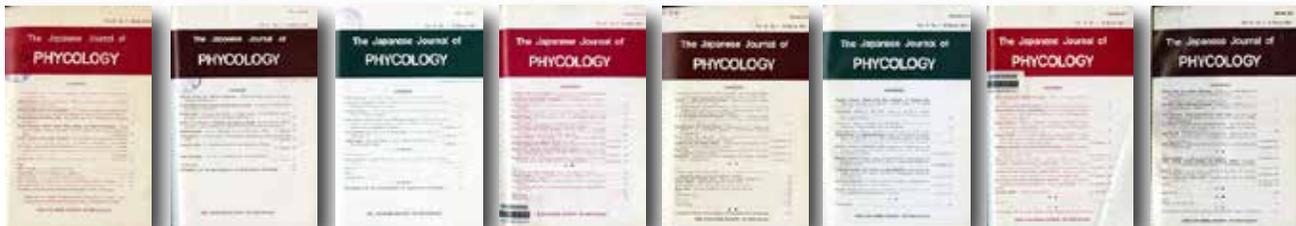
1971 1972 1973 1974 1975 1976 1977

「藻類」

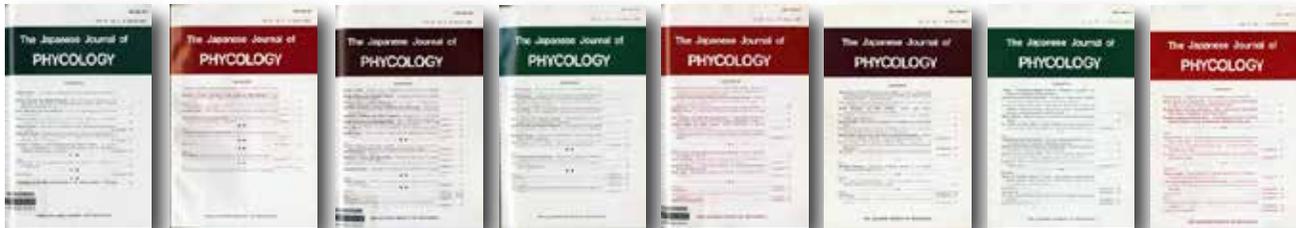
創刊60周年

(1953—2013年各1号)

10 cm



1978 1979 1980 1981 1982 1983 1984 1985



1986 1987 1988 1989 1990 1991 1992 1993



1994 1995 1996 1997 1998 1999 2000 2001



2002 2003 2004 2005 2006 2007



2008 2009 2010 2011 2012 2013

「藻類」の変遷

1952年（昭和27年）の秋¹⁾に設立された日本藻類学会は、その翌年1953年の3月（日付不詳）に年3号の学会定期刊行物「藻類」の創刊号を発行した。今年の1号で60周年を迎えた。これほどの長きにわたり発行を続ける藻類専門誌は海外でも稀で、国際藻類学会誌“Phycologia”（1961年創刊）や仏国藻類学会誌“Cryptogamie Algologie”（前身“Revue Algologique”が1954年の創刊）をおさえて世界最古の歴史をもつ（川井2006）。そこで今号の扉では、創刊以来の各巻1号の表紙を並べ、「藻類」がたどった変遷を振り返ってみた。

「藻類」は、学会の発展にともなう掲載情報の増加や国際化などに対応するため、幾たびもモデルチェンジが施されてきた。まず1973年（昭和48年），“The Bulletin of Japanese Society”であった誌名の英文表記が“The Japanese Journal of Phycology”に改められ、年3号から4号に増刊された。1977年の第25巻からは国内会員も英語論文を投稿できるように投稿規定が改定され、その翌年の1978年には外国雑誌に倣って表紙が英文となり、日本語の誌名・目次は裏表紙へまわされた。また、創刊時A5判であった誌面がB5判に拡大されている。1995年（平成7年）にはついに英文誌（“Phycological

Research”，年4回発行）と和文誌（年3号）に分割され、「藻類」の名は和文誌へ引き継がれた（巻数は和・英ともに第43巻から）。その際、「藻類」の発行は、印刷・発送以外を専門業者に頼まない、学会の編集委員による卓上出版（DTP）で行われることになり、経費の削減と誌面の充実が進められた。2002年からは英文誌とほぼ同じA4変形判にさらに大型化するなど、いまでも「藻類」は「進化」を続けている。

そのような変遷のなかで、表紙に施される茶色、緑色、赤色の三色の繰り返しが今日まで頑なに守られてきたことは注目に値する。この「トリコロール」が褐藻、緑藻、紅藻を意味することは言うまでもないことだが、「藻類」表紙では創刊号から続く唯一の特色なので、是非これからも続けてほしい。ただし、ところがである。1970年の第18巻をみると、なんと表紙に青色が採用されている。そしてそのためか1973年までのパターンが乱れてしまっている。これは何かのミスだろうか。それとも当時、藍藻や黄緑藻などの色も加えるべきとの意見があったものか。その次の1971年の第19巻の色も紅藻を意味する赤ではないのかも知れない。真相をご存知の方はどうか教示いただきたい。

次の遷暦を目指して躍進する「藻類」が、学会と藻学の歴史を創ると共にその記録や資料保存も行い、未来の研究者へ供されることを願ってやまない。



1) 日本藻類学会の設立日には、10月11日説（黒木1982, 堀口2012）と11月11日説（有賀1992, 田中2013）の2説がある。「藻類」創刊号の学会録事には「昭和27年11月11日、日本藻類学会の設立を見るに至った」（Anonymous 1953, p. 38）と明記されており、一見議論の余地がなさそうに思われる。同記事によれば、10月11日は東京大学理学部植物学教室で発起人会が開かれた日に過ぎず、発起人会議事報告にも当日から学会を発足するとは記録されていない。しかしその一方で、創刊号の巻頭に掲げられた「日本藻類学会會則」の附則には「この會則は昭和27年10月11日から施行し、第1回大會が開催されるまでの間有効とする」とあるので、會則の上では10月11日から学会は機能していたといえそうだ。学会録事の「11月」が誤植であるという指摘（中村1982）もあって、いまのところどちらの日付が正しいか結論を出すことが難しい。

引用文献

- Anonymous 1953. 日本藻類学会の設立に就て. 藻類 1: 38-40.
 有賀祐勝 1992. 日本藻類学会創立40周年にあたって. 藻類 40: 413.
 堀口健雄 2012. 日本藻類学会創立60周年に寄せて. 藻類 60: 152.
 川井浩史 2006. 日本藻類学会と分類学—「藻類」は変わる. 海洋と生物 164: 257-261.
 黒木宗尚 1982. 日本藻類学会30年の歩み. 藻類 30: 354-368.
 中村義輝 1982. 日本藻類学会の創設当時を顧みて. 藻類 30: 352-353.
 田中次郎 2013. ご挨拶. 藻類 61: 21.